

デンドロビウム——。洋蘭の一種で、ギリシャ語で「樹上に生ずる」の意。花言葉は「天性の華をもつ、または「思いやり」。

学校便りの最終号でこのデンドロビウムを紹介するのは、この花こそが、卒業を控えた3年生を、3年前の入学式の日で教室で迎え入れてくれた花だからです。

明日3月15日。3年間にわたって信明中学校を支え、後輩を導いてきた3年生103名が、それぞれの樹上に向かって、華々しく羽ばたいていきます。

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして今まで、本当にありがとうございました。皆さんのこれからのさらなる成長と繁栄を、在校生・職員一同、心より祈っています。

デンドロビウム



3年生の卒業を祝し、今年も花を咲かせてくれました

祝★卒業

卒業生、3年間の軌跡

令和2年4月：入学、そして休校。6月：学校再開。——『今年は、中学校に入学するということもあり、小学校とはちがった学校生活を送ることにワクワクしていました。しかし、コロナ禍により緊急事態宣言が発動され、入学式後の学校生活は、私が期待していた学校生活ではありませんでした。私は、友達に会えないことや部活ができないことが、とても悲しかったです。……でも、緊急事態宣言が解除され、通常の学校生活を送ることができるようになった今、会えない時間が長かった分、普通の学校生活よりもみんなと仲良く過ごし、部活でも真剣に取り組んでいると思います。』

10月：高遠フィールドワーク。——『私たちは、10月23日に高遠FWに行ってきました。あいにく朝から雨が降っていましたが、だからこそ感じたことがあるので、それを書きます。……最初は雨の中、山道を歩くオリエンテーリングは気持ちのりませんでした。実際はそうではありませんでした！雨だからこそ感じられる「におい」「音」「風景」があり、とても楽しかったです。今回のオリエンテーリングを通じて、班の絆がぐんと深まりました。』

11月：初めての飛翔祭。——『最初で最後の1年生としての飛翔祭で、3つのことにびっくりし、感心しました。1つ目は、先輩たちの姿です。当日だけではなく、前日までの準備や練習の姿が真剣そのものであったことにすごさを感じました。2つ目は、合唱です。私たちは、学年合唱で「絆」を歌いました。伴奏者がいない形での発表になりましたが、無事に歌いきることができて良かったです。3つ目は信明オリンピックです。何と全クラス優勝という結果になりました。みんなで協力したからこそ、飛翔祭を楽しめたと思います。』

令和3年8月、キャリアアップin八ヶ岳。——『僕は、キャリアアップin八ヶ岳で主に2つのことを学びました。1つ目は、物や食べ物をつくる大変さです。僕たちが使っている物や食べ物は、大勢の人たちが一生懸命作り上げてきたもので、僕はそのことに感謝しながら、使ったり、食べたりしていこうと思いました。2つ目は、命の尊さです。僕たちが食べているものには、命があります。牛や魚など、命ある生き物をいただいて僕たちは生きています。そのことに感謝して生きていきたいと、より一層思いました。貴重な2日間の体験を通し、とてもいい時間を過ごすことができました。』

10/11月：2度目の飛翔祭&音楽会(分離開催)。——『今年の飛翔祭は例年とは違い、新型コロナの影響で1日開催になってしまいました。ですが、スローガン「星彩～自分もつ光を輝かせろ」のように、学年の1人1人が輝いていました。特に、信明ジャンプは学年全員が一生懸命跳ぶことができ、団

令和初の入学生



(※令和元年は5月から)



希望を胸に新生活スタート!!
……のはずが!?



1年：高遠フィールドワーク
気がつけば…だいたい雨



1年：飛翔祭
信明オリンピック

奇跡の全クラス優勝



2年：キャリアアップ
in 八ヶ岳



2年：音楽会

学年合唱「YELL」

結力が高まったと感じました。』『今年の音楽会は、今までで、いちばん心に残るものになりました。僕たちが歌ったのは「空は今」です。クラスみんなで何回も歌って、一丸となって歌を創り上げました。学年合唱「YELL」も、練習の成果を出し、大迫力で歌えました。しかし、何といっても3年生の合唱が圧倒的でした。来年は、先輩たちと同じ3年生になります。学年全員で団結し、「すごい」と思われる最上級生を目指していきたいです。』

令和4年10月：最後の飛翔祭。——『今年の飛翔祭は3年生にとっては2年ぶり、1・2年生にとっては初めて会場に全校集まったの飛翔祭となりました。……学年合唱の「手紙」は、練習を重ねるごとに迫力あるものになっていき、鳥肌が立ちました。本番も、心に残る合唱を後輩に届けられたと思います。飛翔祭ができるかどうかも分からずに始まり、どんなことができるのかも手探りでしたが、飛翔祭のテーマにもある「思い出の一片」になった飛翔祭でした。3年生にとって最後の飛翔祭でしたが、悔いなく終われて、本当に楽しかったです。こんなに素敵な飛翔祭ができたのは、3年生やクラスの仲間たちの力があつたからこそだと思います。思い出に残る飛翔祭を、ありがとう!』

10月：修学旅行(北信・上越方面)。——『2回の延期を経て、10月5・6日、ついに1泊2日の修学旅行に行ってきました。僕たちが行ったのは松代大本営、戸隠神社、善光寺、うみがたり(上越市)です。特に印象的だったことを2つ、紹介します。1つ目は、戦争の厳しさです。松代大本営では、でこぼこの壁や床、先が見えないほど遠くまで掘られた道など、当時の労働者の気持ちや戦争が人々に与える影響を身に染みて感じることができ、衝撃を受けました。2つ目は、地元の良さです。特に戸隠神社は、事前に調べた写真よりもインパクトがあり、神秘的でした。僕はこの修学旅行を通して、地元について関心を持ち、戦争と地元の歴史について知ることができたので、学んだことを生かせるように生活していきたいと思いました。』



3月13日には、4年ぶりに全校が集まって**3年生を送る会**を催すことができました。2年生による生徒会が計画を立て、1・2学年からの発表や先生方からのメッセージで、3年生の卒業を祝福する気持ちを伝えることができました。

何よりも、全校で合唱した「旅立ちの日に」が、文字通り3年生の旅立ちに、大いなる勇気を与えたことと思います。

3年生の3年間の軌跡が、**輝石**となって、新たな**奇跡**を生み出しますように——。

3月14日、卒業証書授与式に先立ち、**3学期終業式・離任式・学校長退任式**を行いました。終業式では、各学年を代表して3名の生徒(1年2組男子・2年1組男子・3年1組女子)が、所感を発表してくれました。ありがとうございました。

また、今年度をもってご退職される**津野尚彦校長先生**より、次のメッセージを頂きました。『信明中学校は今年で創立38年になります。創立当時は舎外には木々がまったくありませんでしたが、今では大きく育っています。実は、わたしが学校の先生になったのは、ちょうど信明中学校ができた年です。ずいぶん前になります。この間に、新しく生まれたもの、反対になくなったものなど、たくさんあります。ただし、変わることなく、ずっと続いて「ある」ものがあります。それは、皆さんが当たり前に見せてくれる「笑顔と活気ある姿」です。中学生が見せるその表情は、38年たっても全く変わりません。これからもずっと…。わたし自身もそうですが、誰もまわりの人に支えられて暮らしています。これからも互いに感謝する気持ちをもっていたいと思います。皆さんもそうであって欲しいです。そして、校歌にある「新しい時代を拓く、人になってください。ありがとうございました。』——本校の生徒・職員を導くとともに、長年にわたり長野県教育に尽力された津野校長先生に感謝しつつ、今後の先生の益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。ありがとうございました。



保護者の皆様、地域の皆様、1年間にわたり、信明中学校の教育活動を支えていただき、誠にありがとうございました。厳しい社会情勢が続く中、卒業式を迎えることができましたのも、保護者の皆様、地域の皆様によるご支援・ご協力があったることと、心より感謝申し上げます。